

特別養護老人ホーム真寿園 入居申込書

申込日 平成 年 月 日 新規・更新

特別養護老人ホーム真寿園
施設長様

特別養護老人ホーム真寿園に入居を希望し、
偽りなく申告の上、申し込みます。

申込者	住所	〒	
	ふりがな 氏名		本人との関係
	電話番号	自宅 携帯・職場等	

*申込者は施設との連絡窓口となり、電話や郵送物の送付先となります。

ご本人の 状況等	ふりがな 氏名		介護保険者 (区・市・町・村)	
			被保険者番号	
	生年月日	大正・昭和 年 月 日 (歳) 男性・女性	要介護度	1・2・3・4・5
	住所	〒	要介護認定 有効期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
	家族構成	本人を含めた同居家族 () 人 (a. 一人暮らし b. 夫婦世帯 c. 2世代同居 d. 3世代以上の同居) 本人を含め、65歳以上の同居家族の人数 () 人		
	認知症等による 不適応行動の有無	1. 非常に多い 2. やや多い 3. 少しあり 4. なし (1~3の判断基準については、「入居申込書の書き方①」を参照して下さい)		
	現在利用している 在宅サービスの状況	1. 通所介護 2. 通所リハビリ 3. 訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリ 6. 訪問入浴介護 7. 短期入居生活介護 8. 短期入居療養介護 9. 福祉用具貸与・購入費の支給 10. その他		
	最近3か月の 在宅サービス利用割合	限度基準 単位の	%	この数値の計算方法については、「入居申込書の書き方②」 を参照して下さい。
	主な既往や治療中 の病気、処置内容 など			
	入居を希望する理由 該当するものすべてに ○印をつけて下さい。 本人の入居希望理由と して、「主に介護さ れている方」の介護状 況をご記入下さい。	<ol style="list-style-type: none"> 介護者がいないため (本人は単身生活者で親族が全くいない) 具体的な状況； 介護者はいるが「高齢」であり十分な介護が困難なため (介護者の年齢が・・・ a. 70歳以上 b. 60歳代 c. 60歳未満) 介護者はいるが「介護者自身が障害や疾病の状況」にあり十分な介護が困難なため (a. 介護が困難である b. 多少なら可能である c. 介護はできる) 具体的な状況； 介護者はいるが「育児」または「入居対象者以外の家族の看病」があり介護が困難なため (a. 常時の育児又は看病が必要である) (b. 半日ほどの育児又は看病が必要である) (c. 時々、育児又は看病が必要である) 具体的な状況； 介護者が「複数の介護」をしているため (a. 介護が困難である b. 多少なら可能である c. 介護はできる) 具体的な状況； 介護者はいるが「就業」しており十分な介護が困難なため 具体的な状況； 自由記載欄 		
在宅で介護された期間	・1年未満 ・1年以上 ・2年以上 ・3年以上			
現在いる場所	1. 自宅 2. その他 (具体的な場所)			

介 護 者 の 状 況	主たる介護者 有・無	「有」の場合 氏名		性別	本人との関係
		生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日 (歳)	男 女	
		同居・別居 の区分	1. 同居 2. 別居(状況:)		
	介護者の 就労状況	a. 1日8時間以上(常勤) b. 4時間以上8時間未満(パート) c. 4時間未満(パート) d. 高齢のため就労不能 e. 就労していない			
の 状 況	従たる介護者 有・無	「有」の場合 氏名		性別	本人との関係
		同居・別居	1. 同居 2. 別居(居住地等):	男 女	
	介護の可能性	1. 介護は困難である 2. 多少介護は可能である 3. 介護は可能である 理由:			
上 記 以 外 の 別 居 血 縁 者 (子・兄弟・その他親族)	有・無	「有」の場合 氏名		性別	本人との関係
		介護の可能性	1. 介護は困難である 2. 多少介護は可能である 3. 介護は可能である 居住地・理由等:		
そ の 他	入居希望する時期	1. 今すぐ入居したい 2. 年 月頃までには入居したい			
	申込の状況	1. 当施設のみ申し込む 2. 他の施設に申し込んでいる 所在地: (区・市・町・) 施設名:			
	担当ケアマネジャー	事業所名とケアマネジャー氏名	電話番号		

「心身の状況等で困っていること」「入居を希望する特段の事情」等

私は、この度「入居の必要性を評価する基準」「入居申込の注意事項」「入居決定の手続き」などについて、施設から説明を受けました。

平成 年 月 日 氏名 印

【入居申込書の書き方】

- 「認知症等による不適応行動」の基準は、介護保険認定調査票の第4群(4-1~4-15)を参考に判定します。
第4群の内、「ある」が3項目以上ある場合は「非常に多い」と判定します。「ある」と「ときどきある」を合わせて2項目ある場合は「やや多い」と判定します。「ある」または「ときどきある」が1項目ある場合は「少しあり」と判定します。
- 「最近3カ月の在宅サービスの利用割合の状況」は、最近3カ月間に利用した単位合計(A)を最近3カ月分の限度基準単位の合計(B)で除し、100を掛け、小数点以下を切り捨てて出して下さい。(A÷B×100)
今どこかに入院・入居している場合は、入院・入居する前の3カ月分で計算して下さい。

【添付資料】

- 認定調査票(写)
 - 介護保険被保険者証(写)
 - 最近3カ月のサービス利用票(写)
- ①の認定調査票は市区町村の介護保険担当課に申請して下さい。添付できない特段の事情がある場合はご相談下さい。

【入居申込の注意事項】

- ※ 平成27年4月より、基本的には要介護3~要介護5の方が入居対象となりました。要介護1および要介護2の方は、特殊な事情(特例入所要件に該当)の場合を除いて、入居対象要件を満たしていないため、入居することはできません。
- ※ 申込書および添付資料に記載された個人情報、入居判定以外に使用することはありません。
- ※ 申込書に記載された内容と添付資料を照らし合わせ、明らかな記載の間違い、計算の間違い、選択基準の誤認などがあつた場合は、申請書の内容を訂正することがあります。無記入項目で推測困難な場合は選択肢の中で最低配点とします。
- ※ 申込内容に変更が生じた場合は、再度、申込書に添付資料一式を添えて更新申請を行ってください。(本人の要介護度や心身の状況、介護者の状況等が変わつた場合、優先順位の見直しを行います)
- ※ 入居検討に向けての情報収集を目的に、関係機関等にご本人に関する情報提供を依頼することがあります。
- ※ 申込書提出後に何らかの事情で入居の意向がなくなった場合は、別紙「特別養護老人ホーム真寿園入居申込取り下げ書」を提出して下さい。